

科目名		担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
行政学		川上 哲	講義	4		2	1, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>本講義では主に日本の政治・行政制度の仕組みを解説していく。その際、単に現在の制度がどのような仕組みになっているのかを説明するだけではなく、歴史的にどのような過程を経て現在の制度が形成されてきたのかを重視しながら授業を進めていく。</p> <p>本講義の目的は受講生が現在の政治・行政制度に対する理解を深め、主権者として地域社会を担っていく基礎的な素養を身に付けることである。また公務員を目指す学生が政治や行政に関する基本的な知識を習得することも目的とする。</p>							
到達目標	<p>①行政学の基本的な理論を理解する。</p> <p>②日本の政治・行政の基本的な仕組みについて理解する。</p> <p>③日本の行政改革の歴史的な経過を理解する。</p>							
回	学習内容		回	学習内容				
1	講義概要及び評価方法		16	官僚制組織論② 権威と権限				
2	行政学の歴史と理論① 行政学の成立と発展		17	官僚制組織論③ 第一線公務員				
3	行政学の歴史と理論② アメリカ行政学		18	中央省庁の意思決定方式				
4	行政学の歴史と理論③ 最近の行政学の理論		19	予算の編成過程				
5	大統領制の仕組みと特徴 アメリカ		20	立法過程と議会過程				
6	議院内閣制の仕組みと特徴① イギリス		21	政官関係論				
7	議院内閣制の仕組みと特徴② 日本		22	行政責任				
8	内閣官房・内閣府・内閣法制局の機能と役割		23	福祉国家と新自由主義				
9	中央省庁の仕組みと役割① 行政組織制度		24	英米の行政改革 サッチャリズムとレーガノミクス				
10	中央省庁の仕組みと役割② 中央省庁の編制		25	行政改革史① 中曽根政権と臨調行革				
11	国家公務員論① 任用		26	行政改革史② 細川政権と政治改革				
12	国家公務員論② 昇任		27	行政改革史③ 橋本政権と六大改革				
13	国家公務員論③ 退職		28	行政改革史④ 小泉政権と構造改革				
14	近代官僚制の理論		29	行政改革史⑤ 安倍政権とアベノミクス				
15	官僚制組織論① 作動様式		30	講義のまとめ				
予習内容 復習内容	<p>初回までに高等学校レベルの政治・経済の内容を復習しておく。</p> <p>2回目以降の予習・復習は講義内で指示する。</p>							
教科書	教科書は使用せず、レジメと資料を配布する。必要に応じて参考文献を紹介する。							
成績評価	毎回の講義時に提出するコメントシート：30%、レポート：70%で評価する。							
実務経験								
その他 特記事項	<p>受講生の理解度に応じて内容や順番を見直すこともあり得る。</p> <p>正当な理由のない遅刻は出席扱いとしない。また 1/3 を超えて欠席した場合は単位認定しない。</p>							